

令和8年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日 時：令和8年5月19日(火) 17:00~18:00

場 所：Zoomを利用したWeb会議

参加者：11名

赤松道成（北部地区医師会病院）、有銘みどり（北部地区医師会病院）、西原政好（県立宮古病院）、下地千里（県立宮古病院）、砂川 綾子（県立八重山病院）、友利寛文（那覇市立病院）、吉田幸生（県立中部病院）、安次嶺宏哉（沖縄協同病院）、古波津万里子（沖縄県保健医療介護部健康長寿課）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）知念崇（琉球大学病院がんセンター）

欠席者：4名

山本孝夫（県立八重山病院）、戸板孝文（県立中部病院）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）
田盛亜紀子（やいまゆんたく会）

陪 席：1名

豊福真理子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】

1. 令和8年度 第1回離島・へき地部会議事要旨について
西原委員より、資料1に基づき、説明があった。
2. 離島・へき地部会委員一覧
資料2のとおり、確認された。
3. 北部・宮古・八重山医療圏における血液内科外来・腫瘍内科外来・放射線治療外来の達成状況について
西原委員より、資料3に基づき、報告があった。
4. その他

【協議事項】

1. 離島・へき地における疾患別対応状況について
増田委員より、資料4に基づき、がん種が増えた報告があった。
2. 離島・へき地部会が所掌する分野の第4次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）の中間評価について
増田委員より、5月8日の第1回連携協議会で修正案が可決された。それを受けて、6月23日までに個別政策評価シートを各部会委員、WG委員に配布し、意見を収集することとした。7月6日の幹事会、8月7日の第2回連携協議会で中間評価報告書の概要を審議すると、説明があった。
 - (1) 第4次沖縄県がん対策推進計画（連携協議会版）ロジックモデルの確認
増田委員より、資料5-1に基づき、説明があった。
 - (2) ロジックモデル進捗管理シートの説明

増田委員より、資料 5-2 に基づき、説明があった。

(3) 評価施策シートの説明

増田委員より、資料 5-3 に基づき、説明があった。

(4) 実際の中間評価のやり方について

増田委員より、資料 5-4 に基づき、説明があった。

(5) 中間評価 説明文書

増田委員より、資料 5-5 に基づき、説明があった。

(6) 個別施策評価シート 施策 1 離島・へき地への情報提供

増田委員より、資料 5-6 に基づき、説明があった。

(7) 個別施策評価シート 施策 2 がん診療病院での標準治療

増田委員より、資料 5-7 に基づき、説明があった。

(8) 個別施策評価シート 施策 3 診療病院への人材配置

増田委員より、資料 5-8 に基づき、説明があった。

(9) 個別施策評価シート 施策 4 本島への渡航費用等の助成

増田委員より、資料 5-9 に基づき、説明があった。

増田委員より、委員の方へ 5/29 までに色付き箇所の評価シートにご意見等の記入の依頼があった。

3・拠点病院の指定要件の変更に対する提案について

増田委員より、7/31 に拠点病院の指定要件の公表がある。何か要望や提案がある場合は、増田委員にメールで送ってほしいとの依頼があった。

西原委員より、今後の拠点病院は減らす方向になっているか、質問があり、増田委員より、現在の拠点病院の分野が多すぎて予算が限られている。人口の少ない県を優先すること、病院ごとの集約化よりも疾患ごとの集約化の方が効果的である可能性、二次医療圏に空白を生じさせないことが重要であると回答した。

4. 次回の開催日について

6月開催

5. その他